

第2回 定期常任理事会
社団法人 日本病院会 平成20年度 合同会議 議事抄録
第1回 定期理事会

日 時 平成20年5月31日(土) 13:00~14:50

場 所 東京都・中央区・ロイヤルパークホテル 3階「ロイヤルA」の間

出席者 山本 修三会長

池澤 康郎、佐藤 眞杉、堺 常雄、大井 利夫、村上 信乃 各副会長

林 雅人、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、梶原 優、齊藤 壽一、松本 隆利、大道 道大、

小川 嘉誉、中島 豊爾、安藤 文英、宮崎 久義 各常任理事

柏戸 正英、中川 正久、石井 孝宜 各監事

加藤 正弘 代議員会議長 野口 正人 代議員会副議長

大道 學、奈良 昌治 両顧問

行天 良雄、高久 史麿、松田 朗、鴨下 重彦、宇沢 弘文、小川 忍(久常節子会長の代理) 各参与

吉田 哲憲、松波 己、西村 昭男、佐々木 崇、木村 格、宮下 正弘、濱崎 允、

有我由紀夫、高橋 正彦、原 義人、崎原 宏、中 佳一、渡部 透、山田 哲司、

山田 實紘、神原 啓文、足立 幸彦、藤原 久義、奥村 秀弘、小西 裕、成川 守

彦、土谷晋一郎、片岡 善彦、吉田 博、今泉暢登志、岡留健一郎 各理事

邊見 公雄、有賀 徹、佐合 茂樹 各委員長

柴山勝太郎、福田 浩三、両支部長

理事出席者64名(定数66名、出席43名、委任状21名、計64名で過半数を超え会議は成立)山本会長から開会挨拶を述べた後、会議定足数の報告後、議事録署名人に高橋 正彦(茨城県)、奥村 秀弘(奈良県)両理事を選任し、議案審議に入った。また、2~3月期に入会された会員3施設(兵庫県・六甲アイランド病院・北垣一成院長、静岡県・浜松南病院・渡邊文利院長、大阪府・市立堺病院・古河洋院長)から施設紹介が行われた。議事進行は、佐藤眞杉 副会長が担当した。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

佐藤副会長から、正会員の入会7施設、正会員の退会6施設、賛助会員の入会2件、賛助会員退会4件の届出がある旨の紹介後、協議した結果、届出を承認した。

(正会員の入会7施設)

①宮城県(市町村・登米市立佐沼病院)

②東京都(医療法人・グレイス病院)

- ③神奈川県（医療法人・中央林間緑野病院）
- ④愛知県（医療法人・一宮西病院）
- ⑤愛知県（厚生連・江南厚生病院）
- ⑥三重県（医療法人・田中病院）
- ⑦広島県（市町村・広島市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション病院）

（正会員の退会 6 施設）

- ①静岡県（医療法人・熱海ちとせ病院）
- ②愛知県（厚生連・愛北病院）
- ③愛知県（厚生連・昭和病院）
- ④京都府（社会福祉法人・富田産婦人科病院）
- ⑤大阪府（公益法人・住之江病院）
- ⑥鹿児島県（医療法人・有馬病院）

（賛助会員の入会 2 件）

- ①A会員・東京都・㈱グローバル・リンク・マネジメント
- ②A会員・大阪府・エス・バイ・エル㈱

（賛助会員の退会 4 件）

- ①A会員・東京都・国際カイロ㈱
- ②A会員・東京都・㈱ウェルシィ
- ③A会員・東京都・コニカミノルタヘルスケア㈱
- ④D会員・北海道・澤田 康夫

5月31日現在、正会員 2,667 会員（公的 914 会員、私的 1,753 会員）賛助会員 232 会員（A会員 94 会員、B会員 98 会員、D会員 40 会員）特別会員A 245 会員。

2. 各団体からの依頼について

佐藤副会長から、下記依頼事項の内容説明後、各種依頼を協議した結果、依頼を承認した。

（継続：後援等）

- ①運動療法機能訓練技能講習会（全国病院理学療法協会）の後援名義使用依頼
- ②フードシステムソリューション（フードシステムソリューション実行委員会）2008 の協賛名義使用

（継続・委員委嘱）

- ①（財）医療情報システム開発センターの監事就任依頼（堺 常雄副会長）
- ②日本医師会・社会保険診療報酬検討委員会委員（加藤 正弘 代議員会議長）

（新規：後援等）

- ①医療の質・安全学会 第3回学術集会の後援名義使用
- ②介護職員の生活を守る緊急全国集会（全国老人保健施設連盟、全国老人保健施設協会）の賛同・参加依頼

（新規：委員）

①患者給食受託責任者資格認定委員（日本メディカル給食協会）の就任依頼
委員選任については、執行部一任とした。

（新規：委託事業）

①厚生労働省からの委託事業「病院勤務医勤務環境改善事業の実施」

横山事務局長から委託事業の内容説明があり、本会として受託することを承認した。

3. 人間ドック健診施設機能評価の認定について

宮下理事から、新規認定施設 5 施設、更新認定施設 1 施設の紹介後、指定を承認した。

（新規認定施設 5 施設）

①千葉県・二和ふれあいクリニック

②広島県・メディカルコート ライフケアクリニック

③京都府・東山武田病院

④神奈川県・みなとみらいメディカルスクエア

⑤東京都・春日クリニックⅡ

（更新認定施設 1 施設）

①東京都・野村病院予防医学センター

4. 精神科医療委員会の設置について

山本会長から、新規委員会として「精神科医療委員会」を設置致したい旨の提案があり、承認された。

5. 5月31日（土）の代議員会・総会への提出議題について

代議員会及び総会への提出議題について逐一説明があり、承認された。

(1) 平成19年度事業報告書（案）について

(2) 平成19年度収支決算書(案)について

(3) 理事の交代について

①国（厚生労働省） 退職のため

旧) ^{こんどう たつや}近藤 達也（東京都・国立国際医療センター 名誉院長）

新) ^{きむら そうすけ}木村 壯介（東京都・国立国際医療センター戸山病院 院長）

②都道府県（自治体） 交代のため

旧) ^{あおき ようぞう}青木 洋三（和歌山県・橋本市民病院 前院長）

新) ^{すながわ あきお}砂川 晶生（奈良県・^{やまとただ}大和高田市立病院 院長）

(4) 参与の交代について

・社団法人 日本病院薬剤師会 会長交代

旧) ^{いが たつじ}伊賀 立二

新) ^{ほりうち りゅうや}堀内 龍也

(5) 参与の委嘱について

〔協議事項〕

1. 当面の諸問題について

時間の関係上、協議を割愛した。

〔報告事項〕

1. 各委員会関係の開催報告について

(1) 日本診療録管理学会・倫理委員会 (4月30日・報告者：大井副会長)

①診療録記載指針について：実用的な一冊の手引きとして今期中にまとめることとし、診療録記載指針検討委員会(仮称)を設置することとした。②診療録管理士についての見直しについて：当学会として、管理士の役割、位置付け、今後の展望を含めて検討することとした。③診療情報管理士業務指針について：業務を確立させるため、医療における業務姿勢、役割等の指針を作成することとした。

(2) 診療情報管理士教育委員会・分類小委員会 (第1回・5月8日・報告者：大井副会長)

①平成20年度の教育について：教科書、レポート問題集、コーディング勉強会の対応を検討、確認した。②平成20年度認定試験について：試験の問題点について意見交換を実施。

(3) 日本診療録管理学会・生涯教育委員会 (第1回・5月12日・報告者：大井副会長)

①平成20年度年間計画について：37～39回の研修会開催内容を検討、確認した。②第4回「診療情報管理士指導者」の認定について：書類選考の上7名が合格し、21年6月22日(日)に試験を実施。

(4) 診療情報管理士教育委員会・専門課程小委員会

(第2回・5月23日・報告者：大井副会長)

①平成20年度の教育について：教科書の改訂、実施要綱を検討。②第2回診療情報管理士アンケートについて：第34回日本診療録管理学会でシンポジウム形式として発表を予定した。③平成20年度認定試験について：今年度の作問基準の検討を実施。④科目別講師会の実施：6月20日(金)に実施。

(5) 第68回診療情報管理士認定式の開催報告

(5月24日・中央区・ロイヤルパークホテル・報告者：大井副会長)

①今回認定者は、1,872名、認定者通算15,276名、総計16,495名(診療録管理士1,216名を含む)

(6) コーディング勉強会 (平成20年4月14日～5月27日開催分・報告者：大井副会長)

の開催報告①26教室、526名の受講。

(7) 平成19年度後期スクーリング

(平成20年2月23日～5月15日開催分・報告者：大井副会長)

①8会場、51日間、14,869名の受講。

(8) 病院経営管理者教育委員会 (5月8日・報告者：小川常任理事)

①新カリキュラムの内容確認と検討作業を実施。②受講生を募集しており、役員各位の施

設への協力依頼があった。

(9) 事務管理者委員会 (5月16日・5月29日・報告者：佐合委員長)

①診療報酬改定緊急アンケート集計作業について：現在、624病院からの回収があり、うち、188病院の回答データに異常値(エラー)があり、検証を行っている旨の報告。

(10) 医療経済・税制委員会 (5月13日・報告者：池澤副会長)

①平成21年度税制改正に関する要望について：委員会としての要望案がまとまり、5月22日開催の四病協の医業経営・税制委員会に提出することとした。②その他：日医・医業税制検討委員会について：関口理事が委員に参画した旨の報告、社会保険診療報酬に仕入れ消費税が補填されている現状を問題視とし、意見交換を実施。タバコ税について：「日本の医療を考える会」への提出資料の概要説明、四病協の「社会保障の財源問題を考える会(仮称)」に資料提出を議論。

(11) 人間ドック施設認定小委員会/人間ドック健診施設機能評価委員会 合同会議

(5月15日・報告者：宮下理事)

①人間ドック健診施設機能評価について(申請状況)：5月15日現在、287施設、累積認定施設は、205施設。②施設の審議について：評価基準バージョン別の認定を了承。③健保連等との指定契約施設について：健保連との指定を5施設承認。

(12) 医療制度委員会 (第3回・5月20日・報告者：石井常任理事)

①中医協の開催報告(4/26)の概要報告。②DPCの調整係数と機能評価係数について：(5/9)DPC評価分科会の概要報告と委員による意見交換を実施。③厚労省からの委託事業について：厚労省から本会に医師交代勤務等導入促進事業、病院勤務医勤務改善環境改善事業の委託業務依頼があり応諾した。対応については、総務委員会とした。

(13) 医療制度委員会/地域医療委員会 合同委員会 (5月20日・報告者：石井常任理事)

①後期高齢者医療制度について：3月19日に開催した地域医療委員会での意見を受け、当委員会との意見の摺り合わせを実施。

(14) 地域医療委員会 (第7回・5月21日・報告者：林常任理事)

①第三次試案について：日病協、日病のパブコメ内容を基に意見交換を実施した。②医師不足問題について：一般紙、地方紙の記事を基に医師不足の実態等に関して意見交換。③院内保育所・託児施設の現状等に係る調査について：日医が実施した調査報告の概要説明。当初、本委員会でも調査を検討していたが、日医の調査回収率(47.8%)が高いため、日病としての調査は見送った。④地域における精神科医療の問題点について：厚労省に設置されている「今後の精神保健福祉のあり方等に関する検討会」の動向を参考し、精神科医療問題委員会で適正な精神科医療の確保を検討することとなった。⑤後期高齢者医療制度について：医療制度、地域医療両委員会での審議経過について報告。

(15) 雑誌編集委員会 (第2回・5月22日・報告者：濱崎理事)

①日病雑誌6月号及び7月号の企画・編集について：6月号は、特別講演として、「医療における税制について(日医・今村常任理事)」、「新型インフルエンザについて(岡部信彦・国立感染症研究所感染症情報センター長)」、「感染症対策の現状について(毛利昌史・東和病院院長)」。

7月号は、特別寄稿として、「特定診断特定保健指導について(宮下正弘理事)」中医協資料「診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」で使用した「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」、「日本版100Kキャンペーン」を

予定。②病院紹介について：こんごは、ハード面を含めその病院の診療機能等も加味して対応することとした。③英文広報誌について：N027号を7月に発刊予定。

(16) S-QUE 院内研修 1000' 特別企画の開催報告

(5月23日・報告者：山本会長、大道常任理事、邊見委員長)

①中央会場を神奈川県済生会 横浜市東部病院とし、S-QUE 病院施設に衛星通信を利用し、日病会員が約100病院参加しテストを実施した。講演内容は「生命輝かそう日本の病院 低医療費政策を乗り越えて（邊見先生）」、「平成20年度社会保険診療体系の意義及びその対応策～民間病院の立場から～（大道常任理事）」とし、司会を有賀先生に願った。今回は、テスト型式として実施し、検証を図り今後に繋げることとした。

2. 四病協関係の諸会議開催報告について

(1) 医療保険・診療報酬委員会（第2回・5月2日・報告者：佐藤副会長）

①中医協報告について：4月23日の開催報告。②診療報酬改定の影響調査について：日病「平成20年4月診療報酬に関する緊急アンケート」、全日病「病院経営調査票（20年5月状況調査）」を利用し、データ収集し取りまとめることとした。

(2) 医療安全対策委員会（第3回・5月16日・報告者：大井副会長）

①報告書について：委員会の設置、医療安全対策委員会として「医師法第21条」、及び「医療安全調査委員会（仮称）」について取りまとめ、報告書（案）を作成した。（案）を5月期総合部会に提出することとした。

(3) 社会保障の財源問題を考える勉強会（第1回・5月21日・報告者：村上副会長）

①勉強会の呼称は「社会保障の財源問題を考える勉強会」を正式名とした。委員長には、日本医療法人協会の日野副会長を選任。

(4) 医業経営・税制委員会（第2回・5月22日）

報告者不在のため、報告書一読で了承。

(内容) ①平成21年度税制改正要望について：21年度の要望事項を5項目としたが、継続検討。②日医・医業税制検討委員会の報告について：日医が新規検討項目（案）とした内容を検討した。

(5) メディカルスクール検討会（第4回・5月22日・報告者：堺副会長）

①委員会委員が諸外国の実態調査を実施しており、検討会としての報告書を8月までに取りまとめ、10月には設立構想を検討しており、本件に関し、役員各位の考え方、意見等を堺副会長、事務局まで提出願いたい旨の依頼があった。

(6) 総合部会（第2回・5月28日・報告者：山本会長）

①日インドネシア経済連携協定に基づく看護師・介護福祉士候補者の受入れ機関の開始について：厚労省より、インドネシアとの経済連携協定(EPA)の現状説明、受入れ希望施設は6月1日までに国際厚生事業団に申し込みすることとなった旨の報告。②平成20年度「クリティカルパス情報交換委員会」の委員派遣について：宮城敏夫（全日病・代議員会副議長）を推薦。③医療安全対策委員会報告書(案)について：報告書(案)を了承し、取扱は委員会報告書とした。

3. 日病協諸会議の開催報告について

(1) 実務者会議（第 34 回・5 月 21 日・報告者：齊藤常任理事）

①診療報酬実務者委員会委員の交代について：日本私立医科大学協会、日本療養病床協会の委員 2 名が交代。②諸会議報告について：前回の代表者会議、中医協の開催報告が実施。③当面の諸問題について：22 年度の改定に向け、実務者会議で取り組む事項を中・長期に区分し、検討することとした。

(2) 代表者会議(第 45 回・5 月 23 日・報告者：山本会長、大井副会長)

①第 43 回診療報酬実務者会議の報告：5 月 21 日の会議報告を了承。②医療安全全国共同行動(日本版 100K キャンペーン)について：大井副会長から、全国共同行動の趣旨等説明後、5 月 17 日(土)にキックオフフォーラムが開催された旨の報告。推進協議会から、推進会議から、推進会議委員の推薦依頼があり、代表を山本会長、調整役を大井副会長として選任した。③診療行為に係る死因究明制度等について：5 月 12 日に厚労省に日病協の見解を提出した旨の報告。また、本件については、法曹界、有識者を交えてのシンポジウムの開催が提案されたが、継続検討とした。④医療の質・安全学会 第 3 回学術集会の後援名義使用について：後援を了承。⑤産科医療補償制度運営委員会委員の推薦について：日病から、大井副会長、全日病から、飯田常任理事を推薦することで了承。⑥「社会保障費 2,200 億円の削減」の撤廃について：声明(案)が提示され、検討の結果、議長、副議長に一任とした。⑦診療報酬改定に関する要望書について：診療報酬制度のあり方を検討すべきかどうかを実務者委員会で検討することとなった。

4. 中医協の開催報告について

下記の開催報告が実施された。

- ・5 月 9 日(金) 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会
救急医療の不採算部門を DPC でどのように取扱うかが問題視された。
- ・5 月 21 日(水) 総会・診療報酬基本問題小委員会・診療報酬改定結果検証部会

5. 医療事故による死亡の原因究明等の在り方に関する第三次試案に対する見解の記者会見実施報告について

山本会長から、本会として、第三次案に対する見解を示し、5 月 13 日(火)に厚労省・佐原医療安全推進室長に提出し、同日、厚生記者会、厚生日比谷クラブで記者会見を実施した旨の報告。

6. 第 58 回日本病院学会の進捗状況について

濱崎第 58 回日本病院学会長から、進捗状況報告として、現在、演題は 367 題、ポスターセッション 105 題が集まったと述べ、役員各位への協力、参加呼びかけが実施された。

7. AHF・IHF 理事会の開催報告について

山本会長から、下記所会議の概要報告が実施された。

(AHF 関係) 5 月 8 日(木)～10 日(土) 韓国

現在、アジア病院連盟に台湾、香港が加盟している中、中国がいろいろ条件を付け、加盟を打診してきている現状にある。

(IHF 関係) 5月14日(水)～18日(日) ジュネーブ

理事会では、IHF 年会費の検討があった。

8. WHO-FIC 教育委員会及び WHO-FIC-IFHR0 合同委員会の開催報告について

大井副会長から、5月13日(火)～18日(日)にワシントンで開催された会議に事務局出席した旨の報告があった。

9. 代議員の交代について

山本会長から、下記代議員の交代の届出について紹介があり、届出を承認した。

(北海道・公的)

旧) ^{しもざわ えいじ}下沢 英二 (栗山赤十字病院 前院長)

新) ^{かわぐち いさお}川口 勲 (帯広厚生病院 院長)

(兵庫県・公的)

旧) ^{なべやま あきら}鍋山 晃 (姫路赤十字病院 前院長)

新) ^{ゆあさ しろろ}湯浅 志郎 (姫路赤十字病院 院長)

10. 長崎県支部・支部長の交代について

山本会長から、長崎支部の交代について報告があり、了承された。

旧) ^{ふくい すなお}福井 順 (長崎記念病院 顧問)

新) ^{ふくい ひろし}福井 洋 (長崎記念病院 理事長)

11. その他

①平成20年度病院長・幹部職員セミナーの開催について

大井副会長から、8月7日(木)～8日(金)に東京・アルカディア市ヶ谷でセミナーを開催する旨の報告があり、役員各位への参加を呼びかけた。

②宇沢弘文参与の冊子作成について

山本会長から、宇沢参与が日病ニュースに連載した「社会的共通資本としての医療(第18回)」を冊子に取りまとめ次回理事会(山形)での配布を予定している旨の報告があった。

すべての議案審議を終了し、全理事会を終了した。